記者発表資料

平成２２年１２月　９日
仙台河川国道事務所

～洪水から地域を守る役割を担う～

樋管などのゲート開閉操作する操作員の講習会を開催します

仙台河川国道事務所では、洪水時に本川から支川への逆流を防ぐための施設として、阿武隈川（宮城県）と名取川及び広瀬川に水門や樋管を設置しており、地域の方々にその操作を委嘱しています。
操作に携わる方々に対し、洪水時の対応について再確認いただき、来年の梅雨期に備える講習会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

国土交通省仙台河川国道事務所が管理する河川は、阿武隈川（宮城県内）、白石川、名取川、広瀬川、笊川の５河川、管理総延長は73.5kmとなっております。
・阿武隈川（白石川含む）については54.6kmを管理
・名取川（広瀬川、笊川含む）については18.9kmを管理

１　目　　的

阿武隈川（白石川含む）４１箇所のうち３５箇所、名取川（広瀬川・笊川含む）２２箇所のうち１４箇所の水門や樋管に操作員８０名を配置しています。
講習会では、ゲート操作・点検に関する留意点、出動体制の再確認を行うものです。

※樋管（ひかん）とは、
堤防の下を通っている水路（暗渠）のことで、洪水時に水の逆流を防ぐための施設。
※操作員の役割
洪水時に本川から支川への逆流防止のため、水門や樋管のゲートの開閉操作を担っています。仙台河川国道事務所管内では、全６３施設のうち４９施設についての操作を８０名の方に委嘱しております。

２　開 催 日　　１２月１０日（金）１１時～１５時３０分

３　開催場所　　岩沼市民会館　中ホール

４　参加予定者数　操作員６９名

※発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

国土交通省　仙台河川国道事務所
仙台市太白区郡山５丁目６－６
Tel（022）-248-4131
河川管理課長　　畑山（ハタヤマ）　作栄（サクエイ）　（内線３３１）
河川管理係長　　畠山（ハタケヤマ）　清人（キヨト）　（内線３３２）

〇昨年度の講習会の様子



〇操作している様子



平成２２年度　水閘門等操作員講習会

次　　第

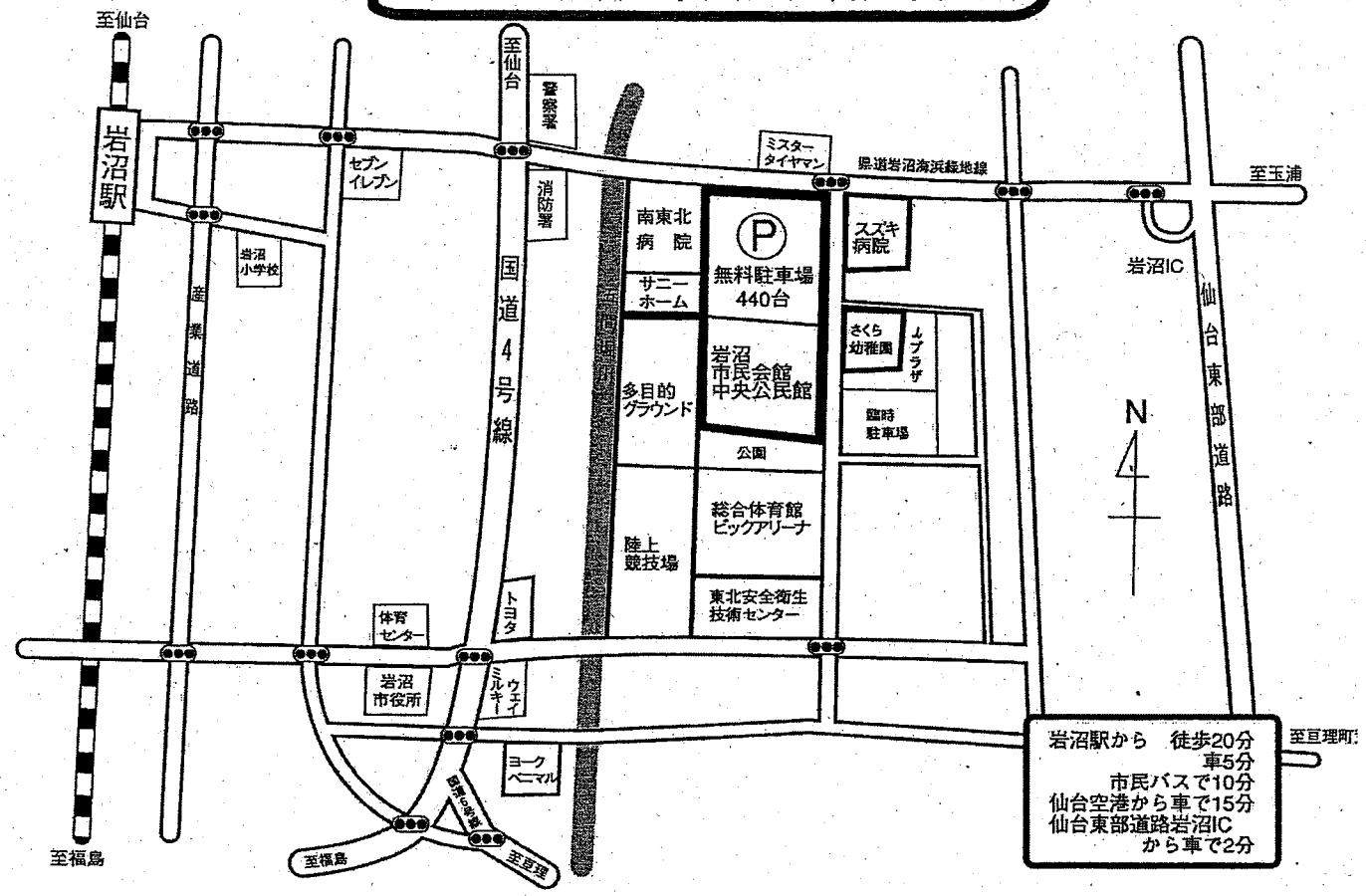
日　時　平成２２年１２月１０日（金）
１１時～１５時３０分
会　場　岩沼市民会館　中ホール

１．開　会
２．あいさつ
３．永年勤続表彰者紹介
４．新規操作員紹介
５．講義
　○操作員の職務内容について
　○水門設備の点検・整備について

　～昼食（休憩）～

　○貸与品の管理について
　○記録簿の記載について
　○樋門情報管理システム実地練習
６．質疑応答・要望等
７．連絡事項（事務所、各出張所）
８．閉会

岩沼市民会館・中央公民館 案内図



～岩沼市HPより～